

令和５年度喜多方市総合戦略推進会議 会議録

日 時：令和６年２月１３日（火）９：３０～１１：０５

場 所：喜多方市役所２階 大会議室

■出席

１ 出席委員（１９名）

星 宏一委員、五十嵐 敦委員、松本 榮二委員、齋藤 百合子委員、湯田 博文委員
牧田 実委員、永井 克明委員、村上 将臣委員、長谷川 武之委員、渡部 孝一委員
佐藤 明紀委員、渡部 淳子委員、五十嵐 明美委員、瓜生 真吾委員、森田 正明委員
渡部 礼子委員、池田 満吉委員、竹野 繁人委員、花見 紀子委員

２ 欠席委員（１名）

大西 尚和委員

３ 市出席者

副市長	上野 光晴	企画政策部長	小野 幸一
企画調整課長	長谷川 仁	企画調整課長補佐	齋藤 哲
企画調整課副主任主査	遠藤 勝之	企画調整課副主査	矢吹 真秀
企画調整課副主査	佐藤 康丈		

■会議次第

委嘱状交付

１ 開 会

２ 市長あいさつ（副市長代読）

３ 会長等選出

（選出方法を諮った結果、事務局案提示の発言があったことから、会長に福島大学教授の牧田実委員を提案したところ、全会一致で承認された。また、会長職務代理者については、牧田会長が喜多方観光物産協会理事の齋藤百合子委員を指名したところ、全会一致で承認された。）

４ 会長あいさつ

５ 諮 問

６ 議 事

(1) 第２期喜多方市総合戦略（令和４年度）の効果検証について【資料１】

(2) デジタル田園都市国家構想交付金活用事業（令和４年度）の効果検証について【資料２】

(3) 第２期喜多方市総合戦略の一部修正について【資料３】

7 その他

8 閉 会

■議事内容

(1)第2期喜多方市総合戦略（令和4年度）の効果検証について【資料1】

※資料1をもとに事務局より説明。

●五十嵐敦委員

資料1－11 ページで表の年間有効求人倍率の60%ラインの位置が誤っているのでは
ないか。

○事務局

誤っておりましたので、修正させていただきます。

●五十嵐明美委員

デマンド交通の利用者の声を聞くと「指定乗降箇所を増やしてもよいのでは」というこ
とを聞きます。そういうことに対して何か検討しているのでしょうか。

○事務局

デマンド交通については、自宅から喜多方の市街地もしくは塩川の市街地の方に移動
するということになりますが、市街地の中ですと決められたところでしか降りることが
できないようになっております。これまで指定乗降場所については順次皆様のご意見や
利用状況などを踏まえて、増加させてきた経過はございます。病院、商業施設、公共施設
に乗降場所を設けておりますが、どのような場所が不足しているのか、こういう場所に
あればなというご意見ございましたら、地域振興課の方で担当しておりますので、そちらの
方にご意見を寄せていただければ、改めて、追加等について検討させていただきたいと考
えてございます。

●五十嵐明美委員

市民の困っている方から、地域振興課へ直接電話しても検討していただけるというこ
とでよろしいですか。

○事務局

地域振興課の方にお電話でも結構ですし、窓口にお出でいただいても結構ですのでご
意見をいただければと思います。ただ、利用状況等を踏まえた上で追加するかどうかにつ
いて決定することになりますので、必ずしもご希望通りにいかない場合もあるかと思
いますが、ぜひ要望があればお寄せをいただければと思います。

●永井克明委員

桐桜高校は地元の高校の1つとして高校の授業を通じて、地元により親しんで、或いは
地元にお世話になりながら育つというような体験をさせながら、この計画の中にもあり

ましたように喜多方人の育成に参画できればと取り組んでおります。授業等でいろんな会社、商店などにお世話になりながら取り組んでおりますが、教員も部活動であったり、保護者対応であったりと忙しいところもあり、新しい企画、授業の構成を考えると、地元でどのような人材の方がいらっしゃるとか、教育活動に使えるような施設があるとかいう情報を集めるのに手間がかかるところで悩んでおります。例えばコーディネーター的な方がおり、その方に聞けばいいとか、こういう施設設備があるとかということが、ここを見ればわかる的なものがあるとそれを参考にさせていただければと考えておりますので、教えていただければと思います。

また、本校は大体6～7割ぐらいが卒業して就職という状況になっております。今の高校生のマインドとしては、地元志向が比較的高いが、地元でどのような優良企業があるかを教員も含め把握しきれていないところであります。教育機関との橋渡しとなるようなものがあるとありがたいと考えております。高校3年の4月になってから考え始めるのでは遅いということもあり、地元志向を無理強いするわけではありませんが、地元について情報収集を気軽に行えるものがあればよいと思います。

○事務局

コーディネーターや教育活動に使える施設等につきましては、市にもいろいろな施設等ありますので、企画調整課に問合せいただければ、各課の担当や施設等について紹介することは可能だと考えております。ホームページ等にもいろいろ掲載されておりますが、わかりづらい場合は直接問合せいただければと思います。

また、地元企業につきましては、ホームページに掲載しておりますし、合同面接会を開催させていただいております。これらについては、商工課が主体で行っておりますので、こういった場も含めご活用いただくことが可能かと考えております。それに加えて、商工会議所等もいろいろな情報をお持ちだと思いますので、そういった情報もご活用いただければと考えております。

●五十嵐敦委員

商工会議所内の工業部会として2度ほど桐桜高校にお伺いさせていただいており、進路指導の先生、担任の先生と話し合いをしております。その中で、進路指導の実績データを拝見した際、進路希望と実際のミスマッチ、具体的には3分の1の生徒が地元外に行って戻ってこないことが気になりました。進路指導の中でアフターフォローが必要だと考えおり、ハローワークでもこの部分は把握していない領域のため、1回就職した元生徒の動向を追い、会津の地場産業に繋げられるような仕組みが必要だと考えております。

もう一点、米沢市が展開している地元で就職してもらう活動について、市中心から市商工会議所及び学校（県教育委員会）の主導で現在は展開されております。米沢中央高校に視察に行った際、管内の様々な企業が来校し、体験学習プログラムを提供しておりました。プログラムでは、実際にその職業を体験してもらうことで、単なる説明では得られない理解定着を促進する取り組みとなっておりました。これを参考として、当会議所もこのような仕組みを構築していきたいと考えているところであるので、ご協力お願いしたい。

●星宏一委員

五十嵐委員の説明した米沢市の事例については、国の補助事業がきっかけだったと思うので、参考としていただきたい。また、当会議所では、生徒に地元をPRする動画を作成してもらうプロジェクトなども展開しているので、今後も学校とは連携していきたい。

●齋藤百合子委員

資料1－47 ページで年々市の施策に対する意見が多くなっているとのことだが、良い意見が多くなっているのか。

○事務局

内訳は市への要望が多くなっております。

●牧田実委員長

アンケートは自由記述なのか。

○事務局

自由記述となっております。

●齋藤百合子委員

具体的な内容は。

○事務局

産婦人科の設置や地域医療に関するものや、空き家対策への要望が多くございます。観光分野については情報発信を強化してほしい旨のご意見などを多くいただいております。

●齋藤百合子委員

どれも身近な問題と感じております。産婦人科の問題について、隣接する産婦人科も同じような状況です。郡山までいかないと出産できないような状況が定着するようになれば、少子化を加速させることになりかねません。空き家対策もそうですが、人口減少により空き家も目立ち、観光の町としてこれでよいのかと考えてしまいます。中国では春節でインバウンドが話題となっていますが、観光の質や傾向が大きく変わってきています。大内宿や鶴ヶ城までの観光客は増えているものの、喜多方への導線がそこで途切れているようです。観光客は減り、ラーメンの有名店も減り、寂しい街になってきており、特にラーメン店へのテコ入れは喫緊の課題ではないかと考えております。

○事務局

産婦人科については、若松市内の病院を会津の出産できる拠点として県が計画しております。これは県内全体で産婦人科医の不足が課題となっていることから、本市でも課題となっている状況です。また、医師においても働き方改革が進んでいることも影響していると考えられます。空き家対策については、危険空き家等の調査をしながら進めているところではありますが、人口減少に加え、空き家数も増えている状況で、行政としても空き家対策が間に合っていないと考えているところでもありますので、担当課のほうに改めてつなぎたいと考えております。また、観光分野についても同様ではありますが、いろいろな

ご提案をいただきながら、商工会議所等も一緒になって進めていきたいと考えておりますので、ご協力いただければと思います。

●五十嵐明美委員

市民目線だと商店街の道路はよくなっていると感じる一方で、閉まっている店舗が大変気になるところであります。既存の商店街の活性化を含め観光としてのまちづくりはどのように進めていくのでしょうか。

○事務局

商店街の活性化については、商工課を中心としてあきない力向上事業、あきない後継者の育成確保、空き店舗等を活用した開業の支援などを行っているところであるが、人口減少に追いついていないのが実情ではある。現在、商工会議所等の協力をいただきながら、活性化を進めているところでもありますので、いろいろなご提案等いただければと考えております。

●佐藤明紀委員

観光、若年層の市内定着などの話題があったが、デジタルコンテンツの拡充が効果的ではないかと考えております。メタバースを活用した観光の推進など、外国では進んでおり、先進技術を活用した取り組みが有効ではないかと思えます。

●池田満吉委員

喜多方駅前開発はどうにかならないか。もともと農協や、マーケット、喫茶店があったため昔は利用価値と賑わいのある場所だったが、時間とともにそれもなくなり、憩いの場所がなくなってしまったように感じる。これらについて何らかの取り組みをお願いしたい。

○事務局

デジタルコンテンツによる広報拡充については、現在市の内部でもDXを推進してまいりたいと考えているところでもあります。また、デジタル化を推進するような交付金等もありますので、そういったものを活用しながら推進してまいりたいと考えております。駅前の開発について、市が直接介入して開発することは難しいため、民間と連携しながら進めてまいります。

●森田正明委員

地域おこし協力隊として横浜から移住し、活動していました。都市部の人間から見た地方都市と、地方の人間が見ている地方都市では見え方がまったく異なります。私はビオトープやパンフレットを作ること地域おこしに取り組んでいるところであるが、もう少し遊び心のある仕事があってもよいかと思えます。また、応募があったのにも関わらず、市が断った事例がありました。このようなことはあってはならないと思えます。

○事務局

外部からの人材登用は委員のご意見のとおり非常に重要であるととらえているところでもあります。応募を不採用とした件については、応募者の考えや活動意思など市が求める

人材か否かを審査したうえで受け入れているところであり、理由をここで申し上げることはできないものの、そのような経緯があるためご理解いただきたい。ただし、全国でも地域おこし協力隊が注目される中、喜多方もこのような方々を受け入れることについては積極的に取り組んでいく姿勢であり、受入環境づくりや情報発信に取り組んでいるため、今後ともご協力いただきたい。

●森田正明委員

観光分野の協力隊を断っておきながら、三ノ倉スキー場のホームページを見ると、2年続けてオープン翌日のホームページに「今年のスキーは終わりました」と書かれていた。このようになっていたらくなく行政運営でよいのか。

○事務局

市の不手際についてはお詫び申し上げたい。しっかりとした情報発信となるよう担当課に伝えたい。なお、この件と地域おこし協力隊の採用の件は別の話しである。

(2)デジタル田園都市国家構想交付金活用事業（令和4年度）の効果検証について【資料2】

※資料2をもとに事務局より説明。

●意見等なし

(3)第2期喜多方市総合戦略の一部修正について【資料3】

※資料3をもとに事務局より説明。

●意見等なし

■その他

●齋藤百合子委員

会津若松市の総合戦略の報道を見たところ、市民目線の地域幸福度の数値化に取り組んでいくとあった。本市もこういった取り組みを進めていくべきかと考えます。

○事務局

本市も満足度調査については、アンケート調査を行っているところであり、結果を公表しているためそちらをご参照いただきたい。

●池田満吉委員

昨年高齢者を対象として行われたアンケートについてその進捗はどうなっているのか。

○事務局

介護保険計画の策定にかかるアンケートだと推測しますが、今年度中の策定がなされるかと思うのでお待ちいただきたい。

●森田正明委員

グルメ認知度は、2018年は1位だったかと思う。食事がおいしい市町村ランキングは4位だったと思う。委員としては変化を確認したいので、見せ方を工夫いただきたい。

○事務局

できるだけ新しい情報を載せており、他意はない。最新のデータを載せるよう資料を作成している。公表の方法については検討させていただきたい。

以上